(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-201014
(P2004-201014A)
(43)公開日　平成16年7月15日(2004.7.15)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
H04M 15/16	H04M 15/16		5K025
H04M 3/00	H04M 3/00	B	5K051

審査請求 未請求　請求項の数 8　OL　（全 10 頁）

(21)出願番号　特願2002-366971(P2002-366971)
(22)出願日　平成14年12月18日(2002.12.18)

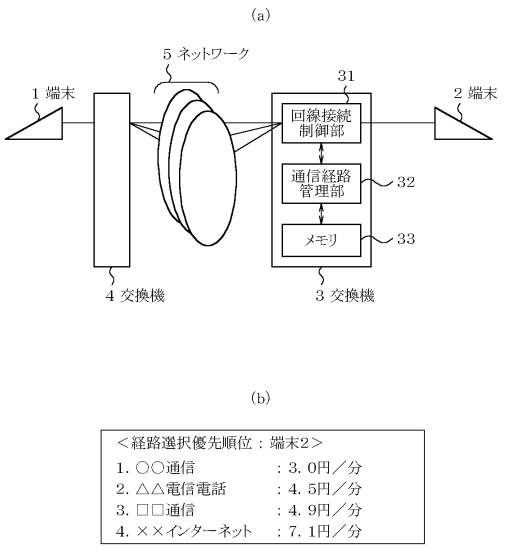
(71)出願人　000232254
日本電気通信システム株式会社
東京都港区三田１丁目４番２８号
(74)代理人　100109313
弁理士　机　昌彦
(74)代理人　100085268
弁理士　河合　信明
(74)代理人　100111637
弁理士　谷澤　靖久
(72)発明者　田口　清
東京都港区三田一丁目４番２８号
日本電気通信システム株式会社内

Fターム(参考)　5K025 AA08 BB06 CC07 EE08 EE17
EE30 FF17 GG10 JJ02 JJ18

最終頁に続く

(54)【発明の名称】交換機，通信システムおよびその経路選択方法

(57)【要約】
【課題】着信払いの端末にとって契約している最も安い通信経路を用いて通信を行うことにより、通信料金を削減する。
【解決手段】通信システムは、発信側の端末１を収容している交換機４と、着信側の端末２を収容している交換機３とを有し、これらの間を複数事業者のネットワーク（通信網）５のいずれかを介し接続する。着信側の交換機３において、メモリ３３は、着信端末側が通信料金を支払う場合の経路選択優先順位情報を予め着信端末ごとに格納しておく。通信経路管理部３２は、メモリ３３を参照して複数事業者の通信網５の中から当該の発信端末への最も安い事業者の通信網を選択する。回線接続制御部３１は、端末１から送信された着信払い通信要求を当該の端末２へ送信しその結果を受信すると共に通信経路管理部３２が選択した通信網を介し当該の端末１との通信を行う。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備えることを特徴とする交換機。
【請求項２】
複数事業者の通信網のいずれかの選択およびその接続制御機能を有する発信側の発信端末と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備えることを特徴とする交換機。
【請求項３】
請求項１または請求項２記載の交換機を有することを特徴とする通信システム。
【請求項４】
発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、着信端末側が通信料金を支払う場合の経路選択優先順位情報を予め着信端末ごとに格納しておくためのメモリと、前記メモリを参照して複数事業者の通信網の中から当該の発信端末への最も安い事業者の通信網を選択する通信経路管理部と、前記発信端末から送信された着信払い通信要求を当該着信端末へ送信しその結果を受信すると共に前記通信経路管理部が選択した通信網を介し当該発信端末との通信を行う回線接続制御部とを備えることを特徴とする交換機。
【請求項５】
発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末が着信端末との着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末との着信払い通信要求を送信するステップと、発信側の交換機がこの着信払い通信要求を受信して前記通信網の中の任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信しこれを着信端末に対して送信するステップと、着信端末がこの着信払い通信要求に対して任意の判定後に着信払い通信許可を行いこの通信許可を着信側の交換機へ送信するステップと、着信側の交換機が着信払い通信許可を受信後複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網を選択するステップと、この選択した結果に基づき当該事業者の通信網および発信側の交換機を介して当該発信端末と通信を行うステップとを有することを特徴とする通信システムにおける経路選択方法。
【請求項６】
発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末と着信端末との着信払い通信終了後に、着信側の交換機は着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い事業者の通信網が選択できなかった場合、最も安い通信網を選択した場合の通信料金と今回選択した通信網での通信料金との差分を算出するステップと、この算出した差分を発信側の交換機を介し当該発信端末に対して通知し通信料金の差分を請求するステップとを有することを特徴とする通信システムにおける経路選択方法。
【請求項７】
発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法で

あって、発信端末と着信端末とが着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末にとって通信料金が最も安い通信網の選択要求を送信するステップと、発信側の交換機は前記通信網の中の任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信し複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網の選択を行い発信側の交換機に通知するステップと、発信側の交換機がこの通信網情報を受信し当該通信網を選択するステップとを有することを特徴とする通信システムにおける経路選択方法。

【請求項８】

発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末と着信端末とが着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末との着信払い通信要求を送信するステップと、発信側の交換機がこの着信払い通信要求を受信して前記通信網の中から任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信し複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網を選択するステップと、この選択した結果に基づき当該事業者の通信網を選択し発信側の交換機を介して当該発信端末と通信を行うステップと、着信側の交換機が当該着信端末に対して発信端末との着信払い通信を要求するステップとを有することを特徴とする通信システムにおける経路選択方法。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は交換機および通信システムでの経路選択機能に関し、特に着信者払い通信における経路選択機能に関する。

【０００２】

【従来の技術】

従来、複数の通話料金区域の中から着信者により予め指定された区域から発信された一般の加入者電話番号とは異なる特定番号に対する呼を、この着信者により予め指定された加入者番号で受信する特定番号呼接続における分担課金において、通話料金に対する発信者と着信者の課金負担情報を設定記憶しておき、この情報に基づき通話料金を発信者と着信者に分担課金している（例えば、特許文献１参照）。

【０００３】

また、ファクシミリ通信方式でコレクトコール通信要求があったとき、発信側と、着信側とが加入している回線が異なる場合に、コレクトコールに応じた通信形態と通常の通信形態による通信料金を比較して、より通信料金の安い方の通信形態を選択するようにしている（例えば、特許文献２参照）。

【０００４】

さらに、交換機において発信側電話機から送出される暗証番号が予め記憶した着信側電話機の暗証番号と一致するか否かを判定し、一致した場合のみ着信側に課金している（例えば、特許文献３）。

【０００５】

【特許文献１】

特開平１０－１３６１２６（段落番号０００８、図２）

【特許文献２】

特開平０２－１９９９５４（第２頁（発明の目的）、第４図）

【特許文献３】

特開昭６３－０５０２４８（第２頁（作用）、第１図）

【０００６】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来技術のうち第１番目の例では、登録されていない発信者は着払い通信を行うことができないだけでなく発信者は着払い通信にもかかわらず、一定の通信料金の分担をしなければならない。また第２番目の例では、ファックス通信以外には適用できず、予想される通信料金を算出しなければならない。さらに第３番目の例では、着信端末側の希望する通信経路の回線を選択することができないという問題がある。

【０００７】

本発明の目的は、着信払いの端末にとって契約している最も安い通信経路を用いて通信を行うことにより、通信料金を削減することができる交換機，通信システムおよびその経路選択方法を提供することにある。

【０００８】

【課題を解決するための手段】

本発明の交換機は、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備える。また、本発明の交換機は、複数事業者の通信網のいずれかの選択およびその接続制御機能を有する発信側の発信端末と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備える構成としてもよい。

【０００９】

本発明の通信システムは、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムであって、前記着信側の交換機に、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備える。また本発明の通信システムは、複数事業者の通信網のいずれかの選択およびその接続制御機能を有する発信側の発信端末と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を接続する通信システムであって、前記着信側の交換機に、前記着信端末が通信料金を支払う場合当該着信端末の優先経路選択情報に基づき、前記発信端末への最も安い事業者の通信網を選択し前記発信端末と通信を行う制御手段を備える構成としてもよい。

【００１０】

本発明の交換機は、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける着信側の交換機であって、着信端末側が通信料金を支払う場合の経路選択優先順位情報を予め着信端末ごとに格納しておくためのメモリと、前記メモリを参照して複数事業者の通信網の中から当該の発信端末への最も安い事業者の通信網を選択する通信経路管理部と、前記発信端末から送信された着信払い通信要求を当該着信端末へ送信しその結果を受信すると共に前記通信経路管理部が選択した通信網を介し当該発信端末との通信を行う回線接続制御部とを備える。

【００１１】

本発明の通信システムにおける経路選択方法は、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末が着信端末との着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末との着信払い通信要求を送信するステップと、発信側の交換機がこの着信払い通信要求を受信して前記通信網の中の任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信しこれを着信端末に対して送信するステップと、着信端末がこの着信払い通信要求に対して任意の判定後に着信払い通信

許可を行いこの通信許可を着信側の交換機へ送信するステップと、着信側の交換機が着信払い通信許可を受信後複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網を選択するステップと、この選択した結果に基づき当該事業者の通信網および発信側の交換機を介して当該発信端末と通信を行うステップとを有する。また、発信端末と着信端末との着信払い通信終了後に、着信側の交換機は着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い事業者の通信網が選択できなかった場合、最も安い通信網を選択した場合の通信料金と今回選択した通信網での通信料金との差分を算出するステップと、この算出した差分を発信側の交換機を介し当該発信端末に対して通知し通信料金の差分を請求するステップとを有する。

【００１２】

本発明の通信システムにおける経路選択方法は、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末と着信端末とが着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末にとって通信料金が最も安い通信網の選択要求を送信するステップと、発信側の交換機は前記通信網の中の任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信し複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網の選択を行い発信側の交換機に通知するステップと、発信側の交換機がこの通信網情報を受信し当該通信網を選択するステップとを有する。

【００１３】

また、本発明の通信システムにおける経路選択方法は、発信端末を収容している発信側の交換機と、着信端末を収容している着信側の交換機との間を複数事業者の通信網のいずれかを介し接続する通信システムにおける経路選択方法であって、発信端末と着信端末とが着信払い通信を行うとき、発信端末が発信側の交換機に対して着信端末との着信払い通信要求を送信するステップと、発信側の交換機がこの着信払い通信要求を受信して前記通信網の中から任意回線を選択し着信側の交換機に対して着信端末への着信払い通信要求を送信するステップと、着信側の交換機が前記着信払い通信要求を受信し複数事業者の通信網の中から当該着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い通信網を選択するステップと、この選択した結果に基づき当該事業者の通信網を選択し発信側の交換機を介して当該発信端末と通信を行うステップと、着信側の交換機が当該着信端末に対して発信端末との着信払い通信を要求するステップとを有する構成としてもよい。

【００１４】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図１（ａ）を参照すると、本発明の第１の実施の形態に係わるデータ交換通信システムが示されており、この通信システムは、データ送受信可能な発信側の端末１を収容している交換機４と、データ送受信可能な着信側の端末２を収容している交換機３との間を複数の通信事業者（以下、事業者と略称）のネットワーク（通信網）５のいずれかを介し接続する。着信側の交換機３は、回線接続制御部３１と、通信経路管理部３２と、メモリ３３とを備える。

【００１５】

メモリ３３には、着信端末側が通信料金を支払う場合の経路選択優先順位情報を予め着信端末ごとに格納しておく。通信経路管理部３２は、メモリ３３を参照して複数事業者の通信網の中から当該の発信端末への最も安い事業者の通信網を選択する。回線接続制御部３１は、端末１から送信された着信払い通信要求を当該の端末２へ送信しその結果を受信すると共に通信経路管理部３２が選択した通信網を介し当該の端末１との通信を行う。

【００１６】

図１（ｂ）はメモリ３３の格納イメージを示す図で、この例では端末２は、○○通信，△△電信電話，□□電話および××インターネットの４つの事業者に属するネットワークを使用することが可能で、それぞれのネットワークにおける１分当たりの通信料金が示され

ている。この情報を使用することにより、端末２にとり最も通信料金の安い○○通信のネットワークを最優先で選択する。

【００１７】

次に、本発明の第１の実施の形態における動作を説明する。図２を参照すると、端末１が端末２との着信払い通信を行うとき、端末１が交換機４に対して端末２との着信払い通信要求を送信する（ステップＡ１）。交換機４が端末１から端末２への着信払い通信要求を受信すると、ネットワーク５の任意の回線を選択し交換機３に対して端末２への着信払い通信要求を送信する（ステップＡ２）。交換機３の回線接続制御部３１は端末１から端末２との着信払い通信要求を受信すると端末２に対して着信払い通信要求を送信し（ステップＡ３）、端末２が交換機３からの着信払い通信要求に対して任意の判定後に着信払い通信許可を行い、端末２が端末１との着信払い通信許可を交換機３の回線接続制御部３１へ送信する（ステップＡ４）。交換機３の回線接続制御部３１が端末２の着信払い通信許可を通信経路管理部３２へ送信し（ステップＡ５）、通信経路管理部３２は、端末２の着信払い通信許可を受信すると、メモリ３３を参照し端末２にとって通信料金が最も安い端末１への経路選択を行い、その経路選択結果を回線接続制御部３１へ通知する（ステップＡ６）。回線接続制御部３１は、経路選択した結果に基づきネットワーク５から当該の事業者のネットワークを選択して交換機４を介して端末１と通信を行う（ステップＡ７）。この最も安い通信網と接続し通信状態となったときに、当初交換機４が選択した通信網との接続を切断する。

【００１８】

図３を参照すると、端末１と端末２が着信払い通信終了後に、交換機３が端末２にとり端末１への通信料金が最も安いネットワークが選択できなかった場合、通信経路管理３２は、端末２にとって通信料金が最も安い端末１への経路選択した場合と今回選択したネットワークでの通信料金の差分を算出しそれを回線接続制御部３１へ通知する（ステップＢ１）。回線接続制御部３１はネットワーク５および交換機４を介して端末１に対して算出した通信料金の差分を請求する（ステップＢ２）。なお、この差分の請求を端末１を管理している通信会社等に対し行うようにしてもよい。

【００１９】

図４を参照すると、端末１が端末２との着信払い通信を行うとき、端末１が交換機４に対して端末２とって通信料金が最も安い経路選択を要求し（ステップＣ１）、交換機４は端末１の要求に従ってネットワーク５の中から任意の回線を選択して交換機３へ端末２との着信払い通信を要求する（ステップＣ２）。交換機３の回線接続制御部３１は端末１から端末２との着信払い通信要求を受信すると、これを通信経路管理部３２へ送信し（ステップＣ３）、通信経路管理部３２は、メモリ３３を参照し端末２にとって通信料金が最も安い端末１への経路選択を行い、この経路選択した結果を回線接続制御部３１へ通知する（ステップＣ４）。交換機４では、通知された結果に基づき当該の事業者のネットワークを選択し通信を行う（ステップＣ５）

図５を参照すると、端末１が端末２との着信払い通信を行うとき、端末１が交換機４に対して端末２との着信払い通信要求を送信する（ステップＤ１）。交換機４が端末１から端末２への着信払い通信要求を受信すると、ネットワーク５の任意の回線を選択し交換機３に対して端末２への着信払い通信要求を送信する（ステップＤ２）。交換機３の回線接続制御部３１が端末１から端末２との着信払い通信要求を受信すると通信経路管理３２へ送信し（ステップＤ３）、通信経路管理３２がメモリ３３を参照して端末２にとって通信料金が最も安い端末１への経路選択を行い、その経路選択した結果を回線接続制御部３１へ通知する（ステップＤ４）。回線接続制御部３１は、経路選択した結果に基づきネットワーク５から当該の事業者のネットワークを選択して交換機４を介して端末１と通信を行い（ステップＤ５）、端末２に対して端末１との着信払い通信を要求する（ステップＤ６）。このように端末２の着信払い通信許可を当該ネットワークの選択後に得るようにしてもよい。

【００２０】

次に本発明の第２の実施の形態について説明する。

【００２１】

図６を参照すると、複数事業者の通信網のいずれかの選択およびその接続制御機能を有する発信側の端末６と、着信側の端末２を収容している交換機３との間を接続するデータ交換通信システムが示されており、この場合第１の実施の形態で示された発信側の交換機４を用いない構成となっており、例えばＩＰ電話のような場合に適用可能である。交換機３の構成は第１の実施の形態で説明した内容と同一なので説明を省略する。

【００２２】

以下に、図６を参照して第２の実施の形態の動作を説明する。図６において、端末６が端末２との着信払い通信を行うとき、端末６が端末２への着信払い通信要求をネットワーク４の任意の回線を選択し交換機３に対して端末２への着信払い通信要求を送信する。交換機３の回線接続制御部３１が端末６から端末２との着信払い通信要求を受信すると、端末２に対して着信払い通信要求を送信し、端末２が交換機３からの着信払い通信要求に対して任意の判定後に着信払い通信許可を行い、端末２が端末６との着信払い通信許可を交換機３の回線接続制御部３１へ送信する。交換機３の回線接続制御部３１が端末２の着信払い通信許可を通信経路管理部３２へ送信し、通信経路管理部３２が端末２の着信払い通信許可を受信するとメモリ３３を参照して端末２にとって通信料金が最も安い端末６への経路選択を行う。通信経路管理部３２は経路選択した結果を回線接続制御部３１へ通知し、回線接続制御部３１は経路選択した結果に基づきネットワーク５から当該の事業者のネットワークを選択して端末６と通信を行う。

【００２３】

端末６と端末２が着信払い通信終了後に、交換機３が端末２にとり端末６への通信料金が最も安いネットワークが選択できなかった場合、通信経路管理部３２が端末２にとって通信料金が最も安い端末６への経路選択した場合と今回の通信料金の差分を算出しそれを回線接続制御部３１へ通知し、回線接続制御部３１はネットワーク４を介して端末６に対して通信料金の差分を請求する。

【００２４】

端末６が端末２との着信払い通信を行うとき、端末６がネットワーク５の中から端末２とって通信料金が最も安い経路選択を行い、交換機３へ端末２との着信払い通信を要求する。この場合、端末６は端末２にとって最も安い経路（ネットワーク）情報を、過去の通信で保存しておくかあるいは、予め登録しておく。

【００２５】

端末６が端末２との着信払い通信を行うとき、端末６が端末２への着信払い通信要求をネットワーク４の任意の回線を選択し交換機３に対して端末２への着信払い通信要求を送信する。交換機３の回線接続制御部３１が端末６から端末２との着信払い通信要求を受信すると通信経路管理部３２へ送信し、通信経路管理部３２が端末２にとって通信料金が最も安い端末６への経路選択を行い、通信経路管理部３２が経路選択した結果を回線接続制御部３１へ通知し、回線接続制御部３１が経路選択した結果に基づきネットワーク５から当該の事業者のネットワークを選択して端末６と通信を行い、回線接続制御部３１が端末２に対して端末６との着信払い通信を要求する。

【００２６】

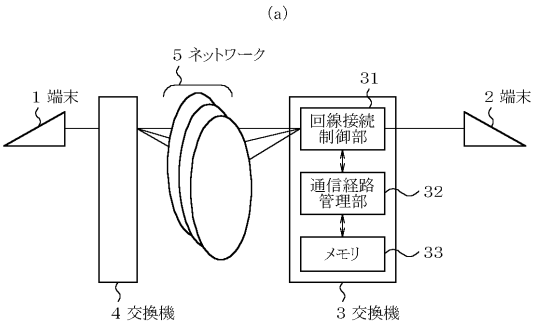
【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、着信払いの端末にとって予め契約している通信事業者の通信経路にて通信することができ、着信側にとって通信料金を節約することができる。また、着信側の交換機は着信端末にとって発信端末への通信料金が最も安い事業者の通信網が選択できなかった場合、最も安い通信網を選択した場合の通信料金と今回選択した通信網での通信料金との差分を算出し、この算出した差分を発信側の交換機を介し当該発信端末に対して通知し通信料金の差分を請求することにより、着信払いの端末にとって契約している最も安い通信経路との通信料金差額を払わないようにすることが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図１】（ａ）は本発明の第１の実施の形態に係わる通信システムの構成を示す図である。（ｂ）は（ａ）のメモリにおける経路選択優先順位の一例を示す図である。
【図２】図１における動作を説明するための図である。
【図３】図１における動作を説明するための図である。
【図４】図１における動作を説明するための図である。
【図５】図１における動作を説明するための図である。
【図６】本発明の第２の実施の形態に係わる通信システムの構成を示す図である。
【符号の説明】
１，２，６　端末
３，４　交換機
５　ネットワーク
３１　回線接続制御部
３２　通信経路管理部
３３　メモリ

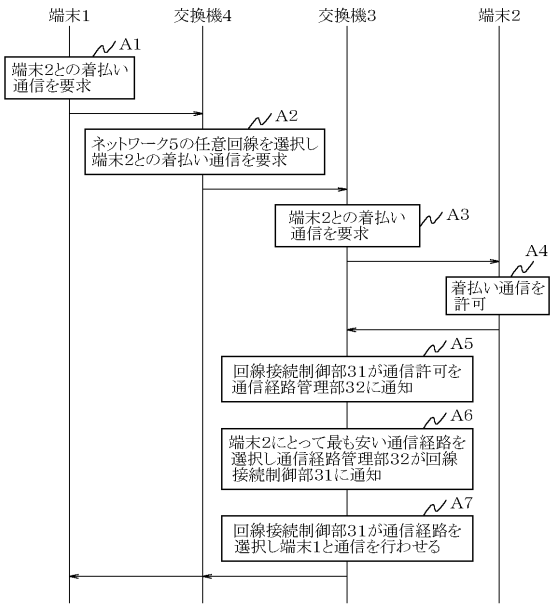
【図１】



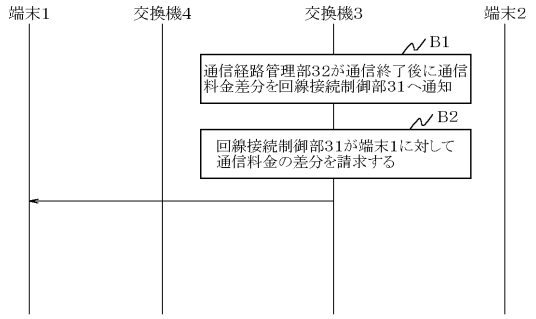
(b)

＜経路選択優先順位：端末2＞	
1. ○○通信	：3. 0円／分
2. △△電信電話	：4. 5円／分
3. □□通信	：4. 9円／分
4. ××インターネット	：7. 1円／分

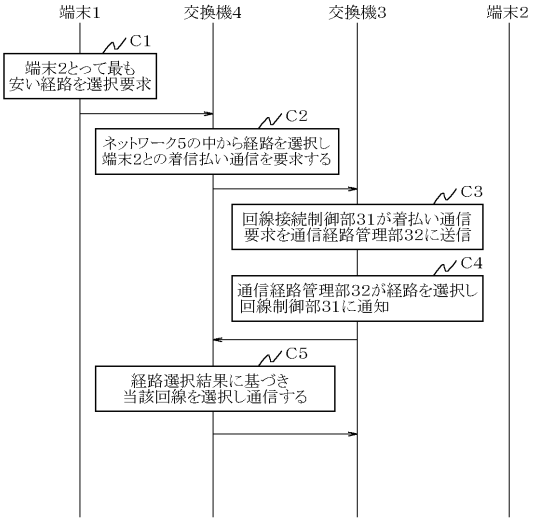
【図２】



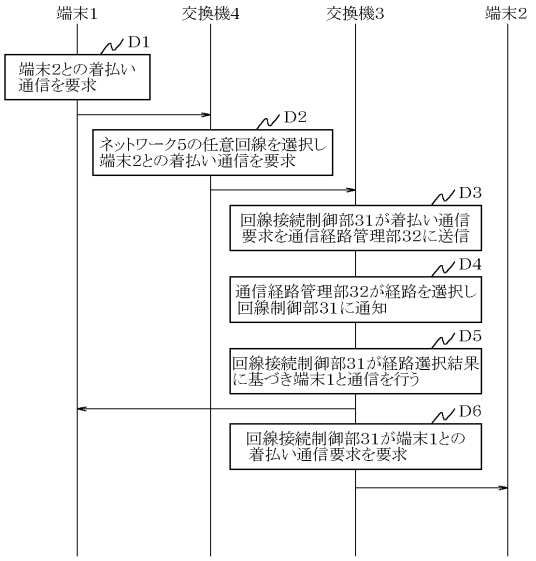
【図３】


端末1
交換機4
交換機3
端末2
B1
通信経路管理部32が通信終了後に通信料金差分を回線接続制御部31へ通知
B2
回線接続制御部31が端末1に対して通信料金の差分を請求する

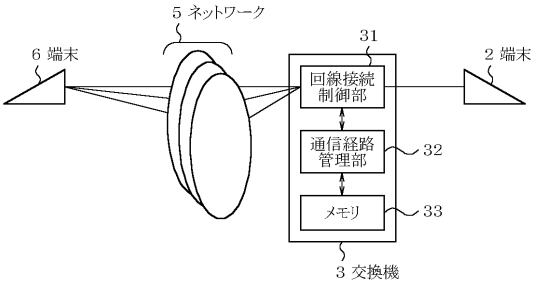
【図４】


端末1
交換機4
交換機3
端末2
C1
端末2とって最も安い経路を選択要求
C2
ネットワーク5の中から経路を選択し端末2との着信払い通信を要求する
C3
回線接続制御部31が着払い通信要求を通信経路管理部32に送信
C4
通信経路管理部32が経路を選択し回線制御部31に通知
C5
経路選択結果に基づき当該回線を選択し通信する

【図５】


端末1
交換機4
交換機3
端末2
D1
端末2との着払い通信を要求
D2
ネットワーク5の任意回線を選択し端末2との着払い通信を要求
D3
回線接続制御部31が着払い通信要求を通信経路管理部32に送信
D4
通信経路管理部32が経路を選択し回線制御部31に通知
D5
回線接続制御部31が経路選択結果に基づき端末1と通信を行う
D6
回線接続制御部31が端末1との着払い通信要求を要求

【図６】


5 ネットワーク
31
6 端末
2 端末
回線接続制御部
通信経路管理部
32
メモリ
33
3 交換機

フロントページの続き

Ｆターム(参考) 5K051 BB01 CC01 DD01 EE01 FF07 FF16 GG01